

ハートアイランド新田の今昔

+

WEBオリジナル

「新田」の名は江戸時代初期に隅田川左岸一帯が開墾され、「鹿浜新田」と名付けられたことに由来する。のどかな田園地帯は近代に入り、大規模工場が相次いで立地。「ハートアイランド新田」のあるこの地区も、1996年3月まで、トースチール東京製造所の大規模工場が操業していた。

工場移転後、約20ヘクタールに及ぶ広大な跡地は、新たな橋や道路、公園、学校などが一体となって整備され、新しい住宅地として生まれ変わった。川岸は地盤を幅広く盛り土した「スーパー堤防」が整備されるなど、水辺の自然を生かした、環境に優しいまちづくりが行われている。



トースチール東京製造所が操業していた頃

整備後の「ハートアイランド新田」